

## 【2019年度以降入学者】上位年次配当授業科目の履修要件

## (いわゆる進級の要件)

## &lt; 2 年次への進級要件 &gt;

第 2 年次配当の授業科目を履修するためには、第 1 年次配当授業科目のうち、つぎの要件を充足していなければならない。(履修規定第 1 9 条第 1 項イ号参照)

分類	専 門 科 目													キャリア 形成科目
	必修	選 択 必 修							必修 (実習・演習)				必修	
授業 科 目	薬 剤 師 に な る た め に	化	物	生	有	物	薬	生	生	生	生	生	生	ス
														タ
														ー
														ト
目	に	理	物	化	学	分	学	析	学	学	物	学	学	ア
													ッ	
単位	1.5	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	ミ
要件	1.5単位 の内 1.5単位	10 単位の内7単位以上									10.5 単位の内 10.5 単位			1 単位の内 1 単位

## &lt; 3 年次への進級要件 &gt;

第 3 年次配当の授業科目を履修するためには、第 2 年次配当授業科目を履修し、第 1 年次および第 2 年次の配当授業科目のうち、つぎの要件を充足していなければならない。(履修規定第 1 9 条第 1 項ロ号参照)

分類	専 門 科 目																										キャリア 形成科目						
	必修	選 択 必 修																			必修 (実習・演習)						必修						
授業科目	薬剤師になるため	化学	物理	生物	有機化学	物理化学	薬理化学	機器分析	機器分	生薬学	生化学	生化学	生化学	生化学	免疫学	分子細胞生	環境衛生	食品衛生	薬理	薬理	病理	病理	早期	基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学	基礎生物学	物理・薬理系薬学演習Ⅰ（物理・化学計算）	物理・薬理系薬学演習Ⅱ（生物）	物理・薬理系薬学演習Ⅲ（化学）	キャリアリポート	形成ゼミ	全
単位	1.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	1.5	1.5	1.5	2	2	1	2	2
要件	1.5単位の 内1.5単位	28 単位の内 24 単位以上																			17.5 単位の内 17.5 単位						5 単位の内 5 単位						

## &lt; 4 年次への進級要件 &gt;

第 4 年次配当の授業科目を履修するためには、第 3 年次配当授業科目を履修し、第 1 年次、第 2 年次および第 3 年次の配当授業科目のうち、つぎの要件を充足していなければならない。(履修規定第 1 9 条第 1 項ハ号参照)

分類	専 門 科 目																										
	必修	選 択 必 修 (下段に続く)													必修 (実習・演習)												
授業 科 目	薬 剤 師 に な る た め に	化 学	物 理	生 物 学	有 機 化 学	物 理 学	薬 理 学	機 器 分 析 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学
単位	1.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要件	1.5 単位の 内 1.5 単位	52 単位 (下段を含む) の内 48 単位以上																									

分類	専 門 科 目													キャリア 形成科目
	(上段から続く) 選 択 必 修													必修 (実習・演習)
授業 科 目	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	病 理 生 理 学	必修 (実習・演習)
単位	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要件	52 単位 (上段を含む) の内 48 単位以上													23.5 単位の内 23.5 単位

< 5 年次への進級要件 >

第 5 年次配当の授業科目を履修するためには、第 4 年次配当授業科目を履修し、第 1 年次、第 2 年次、第 3 年次および第 4 年次の配当授業科目のうち、つぎの要件を充足していなければならない。(履修規定第 1 9 条第 1 項ニ号参照)

分類	専 門 科 目																									
	必修	選 択 必 修 (下段に続く)																								
授 業 科 目	薬 剤 師 になるための	化 学	生 物	有 機 化 学	右 旋 光 性 化 学	物 理 化 学	薬 理 学	臨 牀 薬 理 学	機 器 分 析 学	生 理 学	天 然 物 質 化 学	医 薬 生 物 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	生 理 学	免 疫 学	分 子 生 物 学	細 胞 生 物 学	胚 胎 生 物 学	公 衆 衛 生 学	薬 品 健 康 学	疾 病 理 学	薬 理 学	化 学	精 神 科 疾 患 治 療 学
単 位	1.5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要 件	1.5 単位 以内 1.5 単位	58 単位 (下段を含む) の内 55 単位以上																								

分類	専 門 科 目															基 礎 科 目																			
	(上段から続く) 選 択 必 修 必 修 (実 習・演 習)															必 修																			
授 業 科 目	統 制 製 薬 工 学	臨 牀 薬 理 学	放 射 線 薬 学	薬 事 法	社 会 薬 学	生 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学										
	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学	薬 理 学										
単 位	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
要 件	※単位 (上段を含む) の内55単位以上															35.5単位の内35.5単位										13.5単位以上 (必修3単位を含む)									

分類	教 養 科 目															キ ャ リ ア 形 成 科 目									
	必 修															選 択 必 修									
授 業 科 目	倫 理 学	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語	英 語
単 位	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
要 件	18 単位以上 (必修 9 単位を含む)															12 単位以上 (必修 7 単位、選択必修 5 単位以上※を含む)									

※キャリア形成科目のうち、選択必修科目は「キャリア形成Ⅱ」2 単位、「キャリア形成Ⅲ」2 単位のうち 2 単位以上。  
「グローバルコミュニケーション (中国語)」1.5 単位、「グローバルコミュニケーション (韓国語)」1.5 単位。  
「グローバルコミュニケーション (スペイン語)」1.5 単位および「グローバルコミュニケーション (インドネシア語)」1.5 単位のうち 3 単位以上修得すること。

上記要件に加え、進学共用試験に合格していること

< 6 年次への進級要件 >

第 5 年次の配当授業科目を履修し、5 年次への進級要件を充足し、「薬学研究Ⅰ」の単位を修得している者 (履修規定第 1 9 条第 1 項ホ号参照)

前記の各年次への進級要件にかかわらず、『実習・演習科目について病気、事故等やむを得ない理由により欠席し、不合格になった者が、その他の履修要件を充足した場合には、教授会の議を経て上位年次配当授業科目を履修させること』があります。(履修規定第 1 9 条第 2 項参照)

また、『同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く 2 年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者は、学長が除籍する。』ことになります。(履修規定第 1 9 条第 8 項参照)

< 卒業要件 >

専 門 科 目	必修科目	講義科目	1.5 単位	129.5 単位以上
	実習・演習科目、薬学研究		73 単位	
基礎科目	選択必修科目		55 単位以上	13.5 単位以上
	必修科目		3 単位	
教養科目	選択科目		10.5 単位以上	18 単位以上
	必修科目		6 単位	
キャリア形成科目	選択必修科目		12 単位以上	26 単位以上
	必修科目		15 単位	
	選択科目		5 単位以上	
計			6 単位以上	187 単位以上

また、GPA (グレードポイントアベレージ) が、入学時からの累計で 1.3 以上であることが必要です。

< 参考 > GPA (グレードポイントアベレージ) とは

「成績の評語」に対応する数値として、「GP (グレードポイント)」を付与し、履修した授業科目の GP に単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。

GPA の計算式は次のとおりです。(小数点第 2 位を四捨五入)

なお、不合格科目を再履修した場合は、最新の成績のみが対象となります。

4×成績 A の修得単位数+3×成績 B の修得単位数+2×成績 C の修得単位数+1×成績 D の修得単位数

履修した授業科目の総単位数 (成績評語が「E」、「F」、「※」の科目の単位数も含む)

※GPA の計算対象外の授業科目は、成績評語が「T」、「S」、「U」の科目、ならびに卒業要件に含まれない科目のほか、学部によって別に定めています。